

別表第1（第5条関係）

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	道路維持補修費				
担 当 課 係 名	(角館) 総合窓口 課	振興班 係	作成者	高橋 達	
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち			総合計画の ページ
	基本計画	国道や県道、生活道路の整備			
	主要施策	角館地区における市道全般の維持・修繕・保守点検			
予 算 費 目	一般 会計	8 款 土木費	2 項 道路橋りょう費	2 目 道路維持補修費	
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度	新規／継続の区分		継続	
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	地域住民、観光客の方へ安全で快適な市道利用を提供するための道路維持補修。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	安全、快適に市道利用（歩行・自動車運行等）が出来るよう、適切な市道状態の維持。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	パトロール等による危険箇所の把握、排除、修繕等。 苦情への迅速な対応で危険箇所の改善、排除。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	道路維持補修 実施箇所／対象箇所 (見込み含む)	目標	%	100	100	100	
			実績	%	80	80	80	
			達成度	%	80.0%	80.0%	80.0%	
	成果指標	維持補修要望処理率	目標	%	100	100	100	
			実績	%	80	80	80	
			達成度	%	80.0%	80.0%	80.0%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				2,603	973	2,800	
	人 件 費 (B)		—		15,706	16,142	23,775	
	職 員 数		—		2.00	2.00	3.00	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				18,309	17,115	26,575	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				18,309	17,115	26,575
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		228,863	213,938	332,188	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		574	544	856	

【事務事業の今までの成果】

市道パトロールを実施し、危険箇所の早急な発見、危険箇所排除を行い、利用者へ、安全で快適な市道利用を提供している。苦情等への対応も迅速に行い、関係機関と連携し、不良箇所の修繕に努めている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	国道・県道は道路維持管理を業務委託している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	流雪溝用開閉式グレーチングの老朽化に伴う早期交換の要望がある。(騒音軽減・軽量化等)舗装路面の沈下による水溜まり解消。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
C 2	A 現状のまま継続（実施）	直営修繕、業者委託の見直しが必要である。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

建設課業務、地域センター業務の分担を見直し効率的な運用（地域センターの統合・センター間の業務連携等）を図る。また、財政面も考慮し、既設構造物の老朽化を遅延させるための保守管理、維持修繕にも重点をおいた予算措置。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
C 2	地区ごとに担当窓口が異なり効率的な業務遂行を妨げているため、一本化が必要と考えます。

